

標 題	平田柿部会60周年記念式典！ 盛大に開催！ ～生産者の熱意と実践で、販売額4億円以上の産地づくりを目指して
-----	--

(ダイジェスト)

9月26日、平田柿部会設立60周年記念式典が盛大に開催されました。式典では今後、5年、10年後を見据えた「ひらたの柿産地活性化プラン」が発表され、5haのリース団地による担い手育成、あんぼ柿100万個生産による販売額目標4億円突破を確認し、更なる産地づくりを目指す大会決議を部会員全員で承認しました。



9月26日、JAしまね出雲平田柿部会（奥部会長、部会員105名）設立60周年式典及び平成27年産出荷総会が参加者120名で開催されました。式典では産地づくりに功労・功績のあった4名の部会員に奥部会長より表彰が授与されるとともに、「第二の人生は柿作り」「おいしい平田の柿を作りたい」と題して部会員2名が生産者事例を発表しました。

また、川瀬副部会長から販売額4億円を目指す「ひらたの柿産地活性化プラン」が披露され、リース団地（5ha）による担い手の確保やあんぼ柿（100万個）の増産計画が発表されました。さらに、恩田生産対策部長から「ひらたの柿栽培暦 これが出来れば2t採り！」が披露され、冬期指導会（12月）で配布し所得向上を図る旨、報告されました。

東部農林振興センター出雲事務所としても「ひらたの柿」産地の更なる発展を支援するとともに、県内柿産地の連携を図り、島根あんぼ統一ブランドを目指した普及活動を行っていく予定です。



活性化プラン発表



所得向上にむけた柿栽培暦